

総合情報処理センター研究報告CD-ROM版の刊行手順

- マスターCD作成のノウハウ -

総合情報処理センター 事務室

2004年度山梨大学総合情報処理センター研究報告刊行にあたり、1997年度を初版に今年でVol.8を迎えるCD-ROM版の作成手順について、今後の参考になればと以下のとおり報告します。

1. 研究報告刊行の目的

総合情報処理センター研究報告は、毎年度、山梨大学総合情報処理センターがかかわった活動を報告するとともに、広く情報処理に関連する本学関係者の研究や活動の成果を研究論文や報告書等の形で発表し、情報処理研究・教育を推進することを目的としています。

2. 2004年度の活動状況

研究報告を刊行するためには、まず研究報告編集委員会が組織されますが、本年度は第1回センター会議(6月24日開催)で清水先生を編集委員長に片野先生、郷先生が選出されました。ここでタイムスケジュール等が検討されることとなります。

研究報告編集委員会による2004研究報告投稿のタイムスケジュール等(参考)

応募締切り： 2005年1月 7日(金)

原稿締切り： 2005年2月18日(金)

発行予定日： 2005年3月24日(木)

応募用紙および原稿の提出先：

〒400-8510 甲府市武田4-4-37

山梨大学総合情報処理センター事務室内 研究報告編集委員会

TEL：055-220-8085 e-mail：ipc@yamanashi.ac.jp

上記スケジュールに沿って論文投稿の働きかけ等を進めていくことになるのですが、第6回センター会議(10月22日開催)で清水編集委員長から2004年版研究報告の原稿募集をYINSニュースへ掲載することの要望があり、YINSニュースNo.73(11月4日発行)、号外(11月30日発行)、No.74(2月13日発行)の3回にわたり掲載し、論文の寄稿を促す努力がされました。

結果として以下の5編が寄稿されました。

1 USB インターフェースを利用した制御学習教材の研究

山岸正人、藤田孝夫

2 A Model of Scenario-Based Instructional Design and Implementation

Kentaro Go, Takashi Mitsuishi, Yuki Higuchi

3 エージェントのルール学習におけるGAとGPの特性比較と融合化による性能向上

西村崇征、岩沼宏治、鍋島英知

4 ALC ネットアカデミー導入事例

清水毅、小谷信司

5 総合開発環境 eclipse による java プログラム開発

鈴木智博

3. 刊行作業スケジュールと注意点

編集委員会メンバーの先生方のご努力を得て集められた研究報告をCD-ROM版として刊行する作業スケジュールと注意点を以下に記します。

1. 編集委員会立ち上げ(10月)
2. 原稿依頼(11月~) 締め切り1月7日
3. 編集会議(12月から数回)
4. 研究報告CD-ROM(レーベル・小冊子を含む)業者へ作成依頼準備(2月上旬)
(レーベル・小冊子の原稿、マスターCD-ROM入稿から約3週間で完成予定)
前年度ベースによる見積もりあわせにより業者の決定
5. 期間中、編集委員会メンバーによる投稿論文の取り纏め作業
6. レーベル・小冊子の原稿作成 3月10日頃までに業者へ 校正2回程度
7. マスターCD-ROM作成 ハイブリッドタイプとしての構成のため 各OS、各ブラウザについて表示等の確認作業を行う

7-1. 本文の漢字コード

EUCかSJISとし、機種依存文字は使わない

7-2. ファイル名の注意

- ・ 長いファイル名は使わない
ファイル転送したとき、abcdef~1.gifのように省略した表示になってしまうことがある
- ・ ファイル名は小文字に統一する
Windowsはアルファベットの大文字小文字を区別しないため、WindowsではリンクできてもUnixではリンクが外れてしまうため
- ・ 漢字・平仮名のファイル名は使わない
Unixでは漢字・平仮名は使用しないため
- ・ ファイル名に「-」(アンダーバー)は使わない
Mac OS 9上のWebブラウザでは表示できないことがある

7-3. ファイルの取得

データ収集サーバ(www.ipc.yamanashi.ac.jp)から作業する端末へファイルを転送するときは以下のコマンドおよびオプションを使う

```
wget -r -l0 -np -p -nH
```

7-4. データの書き込み手順例

X-CD-Roast (Version 0.98alpha10)にてisoイメージ作成

Make CD-> マスター作成-> 「chk_2004」ディレクトリを「CDのルート」に追加

7-5. イメージ作成時オプション

- ・ CDイメージの基本形式: Rock Ridge + Joliet, 文字コード Default
- ・ チェック項目: Rock Ridge, 30文字までのISOファイル名を許す, 深いレベルのディレクトリを再配置しない, 拡張 Joliet (Windows用), ピリオドで始まるISOファイルを許す

7-6. 以上をもとにCD-R/RWに直接書込む

注) MacOS X + adobe reader 6の組み合わせではwebブラウザに直接PDFファイルは表示できないことをREADME等に明記する

8. マスターCD-ROM入稿 3月15日頃までに業者へ
9. 3月24日完成予定
10. 4月末日までに関係各所へ配布完了予定

4．2004年度研究報告の会計処理状況

発注業者が前年度と同じである本年度については、レーベルと小冊子の表紙デザインが前回と同じであるため日程は次のとおりであるが、それらを変更する場合はスケジュールを前倒しする必要があるので確認した方がよい。

- 1．2月15日、前年度契約業者に連絡し、今年度の作成依頼を行う
3月8日、投稿論文回収等のスケジュールが押しているため、完成日を1週間おくり3月30日頃に納品するとした場合の日程を確認
 - ・レーベル・小冊子の原稿をいつまでに入稿すればよいか(3月15日)
 - ・マスターCD-ROMをいつまでに入稿すればよいか(3月22日)
 - 2．清水編集委員長に次のことを伝える
 - ・3月15日にレーベル・小冊子の完全原稿を入稿すること
(その時点で仕上がっていること)
 - ・3月22日にマスターCD-ROMを入稿すること
 - 3．3月上旬 実質上の会計処理開始
見積書を業者から提出してもらい財務会計システムへ入力 正式発注
 - 4．3月30日完成 納品を確認
請求書等を業者から提出してもらい支払い処理を会計課に依頼
- * 契約の相手方：レーベル・小冊子の印刷、CD-ROMの製版印刷のできる業者であれば、県内・県外問わずどこでも契約可能であると思うが、本学の場合、過去も契約実績があり、価格・品質共に基準を満たした港北出版印刷株式会社甲府営業所と本年度も契約を締結した。

5．終わりに

以上が2004年度山梨大学総合情報処理センター研究報告刊行までの作業の流れになります。編集委員会の先生方のご努力がなければ成し得ない事業であることはいうまでもなく、皆様のご労苦に敬意を払い、ここにご報告いたします。

文責 大澤